



1. 普及啓発事業

主な
取り組み

かながわのナショナル・トラスト運動への参加促進を図り、普及啓発や会員募集に取り組みました。

●イベントでの普及啓発活動

小網代の森開園10周年記念シンポジウムを行うほか、京急百貨店や藤沢市長久保公園等でのパネル出展、自然観察会など各種イベントを開催しました。



●かながわ緑の大使の活動

若い世代がトラスト活動に取り組み情報発信する事業として、中高生2人が活躍しました。



●WEBサイトの充実

令和7年2月1日(土)に開催した小網代の森開園10周年記念講演やシンポジウムの様子を動画で公開しました。



●その他の取組

機関誌ミドリの発行、会員募集のPR、小網代インフォメーションスペースの出展、緑化協力金制度を運営しました。



2. 地域緑化活動事業

主な
取り組み

県内各地域の特色を生かした緑化やみどりの魅力を創出するため、活動団体への助成や研修会を行いました。

●みどりの実践団体の育成

地域のみどりや身近な自然を守るために活動しているみどりの実践団体に、地域緑化活動助成金交付などの支援とともに、「地域社会の力を活かした生物多様性の保全とSNS活用」の講演と若手参加が増加傾向の実践団体より工夫した活動等の発表による研修会を開催しました。また、地域のみどりに興味がある方々にも参加を呼びかけるなど、実践団体登録促進に努めました。

●地域のみどり保全活動を支援

かながわのみどりや森林におけるパワースポット10箇所、癒やしスポット26箇所をホームページで紹介し、癒やしスポットの中から自然観察会を行うなど、各地域で守られているみどりの魅力や大切さについて周知に努めました。

3. 緑地保全事業

主な
取り組み

かながわのナショナル・トラスト運動は英国で発展した運動をモデルとして、県が設置する基金と当財団が運動体となり都市近郊で開発されやすい緑地を守り育てる運動です。基金による買い入れや寄贈は神奈川県が行い、土地所有者との保存契約による保全は財団が担う、県と財団が両輪の役割を果たす神奈川方式ともいえるナショナル・トラスト運動です。

ハクモクレン、モクレン、コブシの植樹を行いました。故人の希望により県立公園への植樹を行うにあたり、神奈川県及び同公園の指定管理者である株式会社石勝エクステリアさんの協力のもと実施することが出来ましたこと、この場を借りてお礼申し上げます。また、当財団としては故人の思いを受け止め、引地理事長が植樹を行うという初の試みが発現できたことを大変うれしく思います。このような活動が多く県の心を動かし、神奈川県、市民、財団が連携して行う、「かながわのナショナル・トラスト運動」が広まり次の世代により多くのみどりを残していけることを願っています。
植樹場所/
県立東高根森林公園（神奈川県川崎市宮前区神木本町2-10-1）

遺贈寄附による東高根森林公園への植樹

東高根森林公園に深い思い出を持った故人の方から令和3年に、司法書士を通じて当財団へ遺贈による多額のご寄附がありました。故人の遺言公正証書において、東高根森林公園のシラカシの育成と保全を願う同公園への植樹の希望があり、令和7年2月26日にシラカシ、



写真左：植樹した引地理事長（2025年2月末）／写真右：シラカシ（2025年10月現在）



遺贈による寄附について

遺贈を受けた新たな公益事業を行っております。遺言の財産受取人として、当財団をご指定いただけます。

相続税の非課税／相続された方が相続財産を、相続税の申告期限（亡くなられてから10ヶ月）までに当財団へ寄附された場合、その寄附額の相続税が非課税となります。

寄附の事例

ご遺言 「県内の緑化活動に役立てて欲しい（緑の募金事業への指定寄附）」

用途 ▶ 森林や緑地の維持管理における竹林整備のため竹粉砕機を導入し、貸出事業を行っています。竹を割ってそのまま数ミリ程度に粉碎でき、マルチ材や堆肥などに活用できます。

ご遺言 「トラスト緑地の保全のために（緑地保全事業への指定寄附）」

用途 ▶ 小網代の森等の自然再生活動や環境学習などに活用しています。



1985年から運動を開始して40年目を迎え、かながわのナショナル・トラスト運動や県土緑化運動を一層推進するため、5つの事業を柱に様々な課題に取り組みました。

●保存契約緑地等の維持管理

5緑地の保存契約を継続し、葛葉及び久田緑地の草刈やナラ枯れの被害木の伐採等の適正な管理に努めました。また、ナラ枯れによる樹木を木質資源11㎡として活用しました。(返礼品付寄附件数9件)



●トラスト緑地の保全支援

自主的に保全活動にあたる小網代の森、久田、桜ヶ丘、葛葉緑地の4団体に対して、トラスト緑地保全支援事業として会費や寄附を財源に活動費を助成しました。

●その他の取組

小網代の森保全利活用対策協議会の開催や蟹田沢の保全を行いました。

4. 県民参加の森林づくり事業

主な
取り組み

森林の公益的機能や水源林の大切さを伝えるため、森林づくりボランティア活動や森林インストラクターの養成などを行いました。

●ボランティア活動の推進

森林ボランティア活動を企画運営するほか、学校や企業団体への森林体験活動の指導者派遣や用具の貸し出し、各地域で活躍する団体の活動発表会を行いました。



10月12日(日) 枝打作業

●森林インストラクター活動

森林ボランティア活動の指導者の役割を担う神奈川県森林インストラクターの養成及びブラッシュアップ研修を行いました。



ブラッシュアップ研修(間伐)

●その他の取り組み

森林づくり普及啓発、成長の森の造成、街頭キャンペーン活動及び、水源林のつどいなどを開催しました。

5. 緑の募金事業

主な
取り組み

緑の羽根で知られる森林整備や緑化の推進のための募金活動です。



●地域緑化の推進

学校緑化の支援や地域住民が自主的に行う植樹活動への助成、丹沢大山地域の保全支援等を行いました。

●緑の少年団の活動支援

森林での体験学習活動等を行う「緑の少年団」の育成強化と活動支援を実施しました。



緑の少年団交流集会(ライトトラップ)

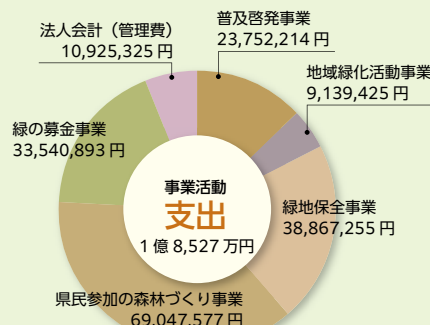
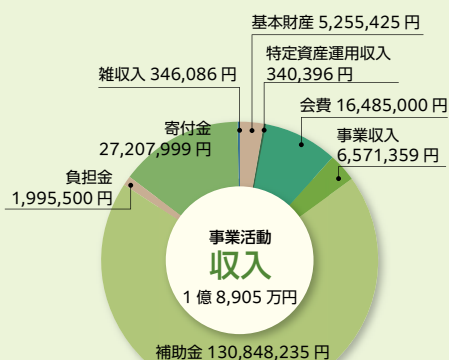
●その他の取組

緑化運動・育樹運動コンクールの開催、竹林整備等支援、(公社)国土緑化推進機構等との協力事業等を行いました。



コンクール表彰式

令和6年度(令和6年4月1日~令和7年3月31日) (公財)かながわトラストみどり財団決算報告



事業活動収入
1億8,905万円
事業活動支出
1億8,527万円
収支差額
3,773,226円

収支差額3,773,226円であり、その大半は当年度に受けた大口寄附等の収支であり、今後特定資産として計画的に取崩し、公益事業の財源として管理及び使用してまいります。

かながわのナショナル・トラスト運動の歴史と将来展望③ 最終回

県民1人1人が主役の
ナショナル・トラスト運動へ

公益財団法人かながわトラストみどり財団 理事長 引地孝一

4 神奈川の歴史的環境の保全 ……………

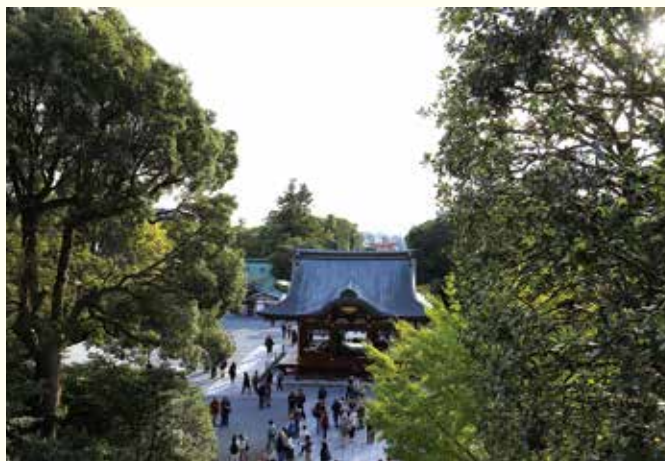
歴史的環境とは、地域の歴史の中で形成された、文化財・遺跡・町並み・自然景観・行事・習俗などの総体と定義づけられています。

「歴史的環境」が公的に初めて使われたのは1969年の新全国総合開発計画においてです。1970年代は高度経済成長による住宅開発、ゴルフ場開発、工業団地建設などで、身近に慣れ親しんだ風景、自然、古い由緒ある街並みや建物が消えて行きました。このことに多くの国民が危機感を持ったことが、歴史的環境の保全に動きだすきっかけになりました。

県内における歴史的環境の保全に対する取り組み

本県の代表的な観光地の一つ鎌倉は「武家の古都」をテーマに世界遺産登録に向けて準備を進め、1992年「古都鎌倉の寺院・神社」として世界遺産の暫定リストに記載されました。その後、2007年7月に県知事と関係する鎌倉市、横浜市、逗子市の市長と教育長を構成メンバーとする「世界遺産登録推進会議」が発足しました。鎌倉の世界遺産登録の内容は、歴史的価値のある24の国指定史跡を核とし、2012年に「武家の古都・鎌倉」として推薦されました。

その後、ユネスコのイコモス(国際記念物遺跡会議)から「武家による政治と文化の伝統は理解できるが、現在残っている



鶴岡八幡宮舞殿

遺産ではその価値を証明できない」として「不登録」が勧告されました。ユネスコの世界遺産委員会で正式に「不登録」が決まると、再度推薦できなくなるので審議される前に取り下げ、再推薦の機会を残しました。世界遺産登録は1978年から始まり、2025年現在、日本では文化遺産21件、自然遺産5件、計26件が指定されています。最近の指定では2025年に佐渡島の金山が登録されています。そのほか、登録予定として、暫定リストには鎌倉、彦根城、飛鳥、藤原の宮都など6箇所あります。

5 今後のナショナル・トラスト運動の展望 ……………

2025年6月に当財団は40周年を迎え、これを契機にこれからのナショナル・トラスト運動の展望を考えてみたいと思います。今の時代は行政だけが公的な仕事をするのではなく、NPOやボランティア、そして当財団のような公的組織が、県民の皆さまと協働し、自然や歴史的環境の保全を進めることです。時代の流れを考えれば、「地方の時代」から顔の見える「地域の時代」としていくべきです。そのために市町村や公的団体等は課題に真摯に向き合い、付加価値を付け、共感を得る事が大切です。国は森林保全のため2024年度から森林環境税を徴収し、それをもとに森林環境譲与税として全国の都道府県と市町村に配分しています。今後の事業展開として、神奈川にある歴史的環境や建造物の保全に当財団がどう関わるかも、課題です。定款や県のトラストみどり基金にも「緑の保全と歴史的環境の保全」が明記されていますので、時代の変化を受けとめ、どう取り組むべきかの議論を深める必要があります。これからの時代は一つの組織だけでなく、何かを進めるのではなく、同じ目的を持った人々や団体、自治体が協力して地域の活性化や自然の保護、歴史的環境の保全を進めることです。今後のナショナル・トラスト運動を息の長い運動として、発展

させるために財団の役員、職員、会員の皆様のご意見を伺うとともに、知恵ある県民の皆様からも、財団に、ご意見をいただければ、幸いです。人はそれぞれ、自然保護や歴史的環境の保全に様々な想いを抱いています。今ある神奈川の自然や歴史的環境は、私たちだけのものではありません。次の世代の人々に、さらに、その次の世代の人々に引き継いでいく責務が、私たちにはあります。県民の皆さまと力を合わせ、かながわの緑と歴史的環境の保全にこれからも、粘り強く、前向きに取り組んでまいります。

※参考文献

歴史的環境の保全と再生の系譜(木原啓吉)
(財)トラストみどり財団20年史
神奈川力構想・基本構想

プロフィール



ひきち たかいち
引地 孝一

横浜生まれ。青山学院大学文学部教育学科卒業。神奈川県に就職後、様々な部局を経験。福祉部長、県教育委員会教育長を務めた。県退職後は神奈川県信用保証協会会長、YRP常勤監査役などを務め、現在、公益財団法人かながわトラストみどり財団理事長

みどりのトラスト法人会員の紹介

10口以上 (株)エルテックス 生活協同組合ユーコープ
 (公財)神奈川県公園協会 川本工業(株) (株)リバティーエステート
 (医社)桜井眼科医院 京浜急行電鉄(株) (株)リビエラリゾート

5口以上 (合)朝比奈緑化 エンドウメタル工業(株) (社福)神奈川県社会福祉事業団 神奈川県住宅供給公社
 (公社)神奈川県宅地建物取引業協会 大和証券(株)横浜支店 (株)ベストバウト
 (司)山田合同事務所 (株)シーエーエル (株)日本セルバン

5口未満 (株)アイエンス、(株)アイキャル、アイグステック(株)、(株)アイティティキャノン、青葉学院、麻生多摩美の森の会、(株)アスコット、(株)アストリア、足立原造園土木(株)、(公財)厚木市環境みどり公社、アットホーム(株)、(株)阿部興業、(有)アマナ・クレスト、(有)綾瀬造園土木、有山エステート(有)、(株)安藤建設、磯子レインボーハイツ団地管理組合、(株)市川屋、市沢団地管理組合、泉の交通(株)、(医)有仁会、(有)植久造園、上野トランステック(株)、(株)植義、well99(株)、運転代行合同会社、SMBC日興証券(株)、(株)エス・シーリビング、エヌ・ケイ・テクノ(株)、(株)NTT東日本一南関東神奈川事業部、(特非)えびなの森の楽校、(特非)海老名里山づくり山仕事の会、(株)MxEコンサルティング、MGP委員会、大井まちづくりコミュニティ研究会、(株)大川印刷、おおぞう彼岸花の会、(株)大智、(株)大森商店、(株)オールスタッフ、(株)おかだハウジング、(株)オガワ、(一社)小田原医師会、小田原市森林組合、(特非)小田原山盛の会、(有)小貫工務店、ガールスカウト神奈川第51団、貝殻浜生物調査隊、(株)カインドサービス、かしの木台ハイツ団地管理組合法人、神奈川環境開発(株)、(特非)神奈川県歩け歩け協会、(公財)神奈川県結核予防会、(一社)神奈川建設業協会、神奈川県厚生農業協同組合連合会、神奈川県小型生コンクリート協同組合、神奈川県山林種苗協同組合、(公社)神奈川県歯科医師会、(一社)神奈川県自動車会議所、(一財)神奈川県私立中学高等学校協会、神奈川県信用農業協同組合連合会、神奈川県信用保証協会、神奈川県森林協会、神奈川県森林組合連合会、(一社)神奈川県造園業協会、神奈川県葬祭業協同組合、(一財)神奈川県団地住宅福祉協会、神奈川県内広域水道企業団、神奈川県農業協同組合中央会、(一財)神奈川県ビルメンテナンス協会、神奈川県民共済生活協同組合、神奈川県木材業協同組合連合会、(公社)神奈川県猟友会、神奈川県労働福祉センター、かながわ信用金庫、(特非)かながわ森林インストラクターの会、(公社)かながわデザイン機構、(株)ピーシーエヌ相模原支店、(株)グッドウェイホールディングス、鎌倉広町の自然を楽しむ連合会、鎌倉広町の森市民の会、(公財)鎌倉風致保存会、(株)川久保組、川崎信用金庫、(有)川島園、河原町団地3号館自治会緑化推進クラブ、(公社)神奈川県環境保全協議会、菊名東口商栄会、(株)kinoiro、行政書士土田経営事務所、共同カイテック(株)、(株)桐ヶ谷工業所、(特非)霧多布湿原ナショナルトラスト、くずはの家・えのきの会、沓形みどりの会、工藤建設(株)、久里浜中央自動車学校、(株)グリプロ、(株)グリルエス、グロスサポート社労士事務所、景観まちづくり研究会・葉山、(株)京急百貨店、(株)研進、(特非)小網代野外活動調整会議、紘永工業(株)、(公社)ガールスカウト神奈川県連盟、(資)文章堂印刷所、構造品質保証研究所(株)、(株)光電社、港北ニュータウンメゾン桜ヶ丘団地管理組合法人、(株)小島ラベル印刷、(株)小俣組、The Blue(株)、(宗)西有寺、(株)サカエテック、(株)嵯峨造園土木、(有)相模造園土木、(公財)相模原市まち・みどり公社、相模原市みどりの少年団、さがみはら津久井森林組合、(公財)相模湾水産振興事業団、(株)佐久間商事、櫻井造園土木(株)、桜ヶ丘・水辺のある森再生プロジェクト、(株)サン、三光工業(株) 中辻和夫、(株)三進塗装、三太の里共和国、山陽印刷(株)、三洋測量設計(株)、SEIKS Corporation、ジェイ・アール・シー特機(株)、(株)四季の自然舎、シティアクセス(株)、(株)シティアクセス相模、(有)シバタ工業、(株)渋沢造園、(株)ジャストアメニティ、(特非)萩桜会、樹木環境ネットワーク協会、ジョイテック(株)、(有)正栄製作所、城ヶ島野菜をつなぐ会、(株)東海林コーポレーション、(有)湘南建築工房一級建築士事務所、湘南造園(株)、(有)湘南仲介センター、湘南二宮・ふるさと炭焼会、新生さくら道の会、親和興業(株)、(株)杉浦商事、杉崎運輸(株)、(株)杉本造園、(有)鈴木商事代表取締役鈴木正、すゞきモーター(株)、(社)住まい選びコンシェルジュ協会、住みよい町・さむかわにする会、生活協同組合パルシステム、(有)青史堂印刷、生長の家神奈川県教化部、(株)セイロモーターズ、聖和電設(株)、(株)ZETTON&Co、(株)ゼネラルダイナミックス、(特非)全国森林インストラクター神奈川会、(一社)全国森の循環推進協議会、(有)セントラル・ホームズ、相鉄ホールディングス(株)、相洋産業(株)、(一社)そっか、(株)染谷商店、(株)ソリッドプラス、第一三共(株)平塚工場、大成建設(株)、(有)泰成緑地建設、ガイドードリンコ(株)首都圏第一営業部、大雄町花咲く里山協議会、高砂熱学工業(株)横浜支店、(株)タズミ、谷本緑化(株)、(有)田畑興業、千代田化工建設(株)、(有)椿建設、ツルミ印刷(株)、(特非)鶴見川流域ネットワーク、ディーエムソリューションズ(株)、(株)庭司苑、(株)テクノ・トランス、(有)東海エフ・ティ・シー、東京応化工業(株)、東京ガスライフバル飯田(株)、東豊インベスト(株)、(株)東洋不動産、(株)ときそう、徳増不動産(株)、(株)トシダ、土志田建設(株)、(株)トヤマ、(有)ナカハラ、(株)日建、(株)日建産業、日興テクノス(株)、(株)ニデア、(株)日本ウォーターテックス、(一社)日本樹木医会、庭乃持田園(有)、沼間里山の会、NOSIGNER(株)、野崎印刷紙器(株)、箱根温泉供給(株)、箱根ガラスの森美術館、箱根湖畔開発(株)、(有)箱根清掃公社、橋本電気工事(株)、秦野瓦斯(株)、秦野みどりの少年団、秦野南が丘ウエルシーみどりの会、(学)初音丘学園、花と緑のまち梶原山を創造する会、(株)濱田園、万里設備(株)、ビジョナーズ(株)、ひだち屋不動産(株)、平塚市漁業協同組合、(株)弘充建設、福島製鋼(株)相模工場、(株)福田商店、藤沢市企業等環境緑化推進協議会、藤田精密(株)、(有)藤屋、(一社)不動産価値創造支援機構、(株)ぶどうの木、舟津産業(株)、(株)PLANETS、文明堂印刷(株)、ペーパードライバー講習(同)、(株)ベストワン、(公財)ポーラ美術振興財団、(株)ホクシン、(株)星建設、牧野元気創生会、(株)マブチ、(株)丸孝産業、(株)マルビ、(一社)三浦市観光協会、三浦史蹟名勝振興会、三浦ライオンズクラブ、(株)三木組、(株)水落建設、みずほ証券(株)横浜支店、三橋ビル(有)、三菱ケミカル(株)平塚事業所、南足柄市森林組合、(有)峯岸工務店、ミネ工業(株)、宮内建設(株)、(公財)宮ヶ瀬ダム周辺振興財団、六ツ川上第二自治会、ムラタ計測器サービス(株)、明治安田生命保険相互会社 神奈川本部、(株)メイシママテリアル、明誠建設(株)、メルビック電工(株)、もくもくはうす(有)、野菜のHikarie、安武測量設計(株)、(株)ヤマシゲ、(株)山善、(公財)大和市スポーツ・よか・みどり財団、山羽工業(株)、(有)松中一級建築士事務所、(株)有隣堂、(一社)横須賀市医師会、横浜植木(株)、横浜エフエム放送(株)、横浜建設(株)、横浜新都市センター(株)、横浜信用金庫、横浜総合建設(株)、横浜戸塚ライオンズクラブ、(学)横浜平成学園、(株)横浜ホームビルド、(株)ヨコレイ、(株)ラ・ルース、リョーコーホーム(株)、緑栄造園土木(株)、緑園都市コミュニティ協会、リンクイノベーションズ(株)、(株)ルビー、連合神奈川、和光産業(株)、和光大学地域・流域共生フォーラム、(株)渡辺組、(有)綿屋



※表記統一のため、「株式会社」等は略称を用いています。
 ※掲載は、五十音順です。



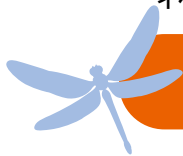
自然観察

&

体験イベント

森林ボランティア

イベント・ボランティアの参加について、急な中止・行程変更がありますことをご承知おきください。



自然を満喫しよう 2025年度 2026.1~3/31



野鳥観察会

平塚・花水川で野鳥観察会

30人 受付 11/1 ~ 11/30

令和8年 会員 **無料**
1月24日(土) 一般 **2,000円**
9:00~12:00 学生 **1,000円**

※双眼鏡持参
【講師】こまたん
【集合】JR東海道線平塚駅東改札前9:00

【コース】平塚駅~古花水バス停~花水川左岸~花水橋(一旦解散) ※その後、希望者は上平塚バス停で解散
●花水川左岸の土手を花水橋から平塚大橋まで約2km、ゆっくり歩きながら冬の野鳥を観察します。



【共通事項】バス乗車 乗船 コース内のバス代・乗船料は各自負担となります※写真はすべてイメージです

受付期間にお申し込みください。申込みが定員を超えた場合は抽選となります。【雨天の場合】原則として小雨決行です。集合場所にて講師がコース変更等を判断します。【服装と持ち物】帽子、長袖、長ズボン、歩きやすい靴・筆記用具、雨具、水筒、(必要に応じて入園料、拝観料、双眼鏡等)

申込方法

【申込先】(公財)かながわトラストみどり財団

みどり企画課 〒220-0073 横浜市西区岡野2-12-20/FAX : 045-412-2300/Eメール: midori@ktm.or.jp/ WEBサイト

: www.ktm.or.jp 【申込方法】イベント内容をご確認の上、●

参加を希望するイベント名、●参加希望者全員の氏名・住所・電話番号、●会員の方は会員番号、または一般・学生(年齢)を明記して、FAX・Eメール・ハガキ・財団WEBサイトにてお申し込みください。

【雨天の場合】原則として小雨決行です。集合場所にて講師がコース変更等を判断します。【お願い】集合時間になりましたら

出発します。遅れないようご注意ください。

※コース内のバス代・乗船料は各自負担となります。

※定員を超える申し込みがあった場合は抽選となります。



野鳥観察会

カモと冬鳥達を見つけよう

20人 受付 12/1 ~ 12/26

令和8年 会員 **無料**
2月14日(土) 一般 **2,000円**
9:00~12:30 学生 **1,000円**

※双眼鏡持参
【講師】NPO法人藤沢サンクチュアリ
高橋和也氏
【集合】横浜市営地下鉄ブルーライン

下飯田駅改札前9:00
【コース】下飯田駅→境川遊水地公園(一時解散)→下飯田駅
●境川遊水地公園でカモや冬鳥を観察します。



森へ行こう! 活動に参加しよう!

2025年度 2026.1~3/31

麻生区万福寺

川崎市 万福寺さとやま公園

100人(先着順) 受付 11/1 ~

除伐 2026年1月17日(土)
予備日:1/18日

【集合】新百合ヶ丘駅北口 9:00
※徒歩で移動
※自家用車駐車場はありません
【後援】川崎市 【共催】(公財)川崎市公園緑地協会
【行程】新百合ヶ丘駅(徒歩20分)⇒現地⇒現地解散



麻生区黒川

川崎市 特別緑地

100人(先着順) 受付 12/1 ~

除伐 2月14日(土)
予備日:2/15日

【集合】はるひ野駅南口 9:00
※徒歩で移動
※自家用車駐車場はありません
【後援】川崎市 【共催】(公財)川崎市公園緑地協会
【行程】はるひ野駅(徒歩20分)⇒現地⇒現地解散



子易

伊勢原市 大山地区

60人(先着順) 受付 11/1 ~

除伐 1月24日(土)
予備日:1/25日

【集合】伊勢原駅北口 9:00
※専用バスで移動
※自家用車駐車場はありません
【共催】伊勢原市
【行程】伊勢原駅(専用バスで移動)⇒現地⇒伊勢原駅



森林ボランティア

申込方法

【申込先】(公財)かながわトラストみどり財団みどり森林課

〒220-0073 横浜市西区岡野2-12-20

TEL : 045-412-2255 Eメール : midori@ktm.or.jp

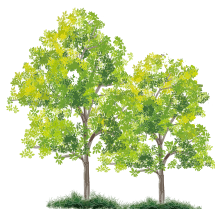
WEBサイト : www.ktm.or.jp

【申込方法】申込は活動内容をご確認の上、●参加希望日●参加希望者全員の氏名(ふりがな)・住所・電話番号●森林整備活動登録番号(ボランティア番号)をお持ちの方は登録番号を明記して、電話・Eメール・財団WEBサイトにてお申し込みください。

【雨天や現場不良等の場合】予備日のある場合は延期、ない場合は中止。

【実施の可否の確認方法】実施日前日の18時以降に、財団WEBサイト、当財団の録音テープ(045-412-2255)でご確認ください。

【参加について】当財団WEBサイト「森林づくり活動参加にあたって」をご覧ください。





寄附・募金ありがとうございます。

●芝信用金庫

創立100周年記念「しばしんみどりの定期預金」の残高の一部をご寄附いただき、8月7日に感謝状を贈呈しました。



左:芝信用金庫望月理事長
右:財団引地理事長

●ウエイズグループ

オイル交換や点検整備の売上の一部をご寄附いただき、8月1日に感謝状を贈呈しました。

同グループはグリーンアップキャンペーンによる累計寄付額が2億円を突破したことを記念して、キャンペーンサイトをオープンしています。

●まいばすけっと

レジ袋の収益金の一部をご寄附いただき、6月19日に感謝状を贈呈しました。なお、同社は今年創業20周年を迎えたことを記念して「水沢まいばすけっとの森」にイロハモミジを植樹しました。



まいばすけっと株式会社創立20周年及び公益財団法人かながわトラストみどり財団創立40周年記念植樹祭の様子



<https://weins.jp/greenup-campaign/>



薪寄附 2025 開始



これまでのナラ枯れ薪事業を継承し、維持管理上で産出した木質資源を薪にして寄附返礼品として扱う新たな事業を開始します。

薪寄附

寄附額: 2万5千円以上

数量: 約400kg (軽トラ荷台1杯強相当)

新規格: 大和市産広葉樹

(今年度より薪配送は行っておりません。大和市内の指定場所で各自回収になります。)

問合せ: 電話 045-412-2525

: メール midori@ktm.or.jp

GREEN×EXPO 2027
ボランティア募集開始

2027年国際園芸博覧会(GREEN×EXPO 2027)では、「花・緑ガイドボランティア」の募集を行っています。なお、このほか植物管理ボランティアや運営ボランティアも順次募集を開始予定です。詳細はGREEN×EXPO 2027ボランティア問い合わせセンターまで。

花・緑ボランティア(約200名)募集中

活動内容: 来場者に向けて会場内の花壇等の見どころ紹介を行う



詳細情報・ご応募はこちらから

EXPO ボランティア

検索

お問い合わせ先

GREEN×EXPO 2027ボランティア問い合わせセンター
0120-878-950

info@volunteer.expo2027yokohama.or.jp

受付時間: 平日9:00 ~ 17:30 (土日祝日・年末年始休み)

【GREEN×EXPO 2027概要】

開催期間: 2027年3月19日(金) ~ 9月26日(日)

開催場所: 旧上瀬谷通信施設(神奈川県横浜市)

主催: GREEN×EXPO協会(公社) 2027年国際園芸博覧会協会

挿絵/横山寛多

募集中

機関誌「ミドリ」や
イベントなどの感想

応募方法: ①〒と住所/②連絡先(電話やメール)/③氏名/④あれば会員番号/⑤機関誌「ミドリ」アンケート、イベントや財団活動への感想やご意見など①~⑤を明記し、メールやハガキにてお送りください。

編集
後記

「見分ける」ケヤキ、ムクノキ、エノキの3兄弟は見分けにくい。別にカブトムシがつくわけでも、とびっきり美味しい実がなるわけでもない。もちろんケヤキは高級木材なのは知ってる。でも造園屋とのやりとりで、木の名前が違っていても、そこまで支障がなく済んでしまう3兄弟。それでもケヤキは

伐採すると、バナナのような発酵臭が強くあるし、ムクノキは驚くほど樹皮が剥けるし、エノキは幹に粘りがあって、つい先日、急傾面な緑地で逆立ちしたような株立ちに出会うなど、事あるごとに個性豊かで覚えられました。フィールドワークは大切ですね。(壹崎)

令和8年2月まで延長!

財団設立40周年寄附金募集事業

これからのトラスト緑地保全のための 寄附金募集のお願い

イメージ

2025年は財団の前身である「みどりのまち・かながわ県民会議」の発足(1985年)から40年目にあたります。これを契機としてトラスト緑地応援寄附事業を行います。キャンペーン期間中に専用の振込用紙またはクレジットカードから寄附いただくと、寄附者のお名前が記された木札を各トラスト緑地の「寄附御礼看板」に掲示します。

現在、資金を必要としている小網代の森、久田、葛葉緑地のいずれかを選択し、40周年記念寄附金の協力をお願いします。



トラスト緑地保全支援事業

こあじろ
小網代の森緑地【三浦市】
(NPO法人小網代野外活動調整会議)

神奈川県三浦市にある小網代の森は、アカテガニやホタルなど多くの生きものたちが生息する自然豊かな森です。

小網代の森は源流域を含む森林、河川、干潟が人工物で遮られずに繋がっており、この連なった流域生態系は首都圏では唯一であり、多様な環境には約2千種の動植物が生息しているといわれ、次の世代に引き継ぐべき貴重な森です。

この多様な自然環境は2014年の一般開放が始まって以降、植生管理や湿原回復など様々な手法による活動によって生み出され、保全が進められています。この良好な自然を維持管理するために、より多くの皆さまからの支援を必要としています。



ご協力を
お願いします

花咲く森、小網代の森へ ハマカンゾウ育成中

ハマカンゾウの開花は8月。小網代大湿地を下れば、ボードウオーク下の小川に守られたハマカンゾウの大群落、オレンジの花園に出会うことができます。



ご協力を
お願いします

葛葉緑地【秦野市】 (くずはの家ボランティアの会)

シカ侵入防止柵の設置に向けて

ここ2、3年で急激にシカの定着個体が増え、大食漢のシカが食べる植物が少なくなっています。既存の柵では抑えきれず、新たな部分への設置が緊急課題となっています。貴重な植物が失われる前に対策を取らねばなりません。また、シカを宿主とするヤマビルも増加しており、ヤマビル被害を抑制するためにも、緑地内へのシカ侵入を防ぐ柵の設置が必要です。ぜひご協力をお願いします。



葛葉緑地について

市内北部を流れる葛葉川が大地を刻み、蛇行してできた峡谷が葛葉緑地です。湧き水が豊富な環境であり多種多様な動植物が生息しています。

寄附方法

キャンペーン期間／令和7年8月1日(金)～
令和8年2月28日(土)まで期間延長
方法／機関誌ミドリ137号、138号専用振込
用紙またはクレジット決済

古
里
み
ど
り

ご協力を
お願いします

久田緑地【大和市】

緑地の定期的な手入れ作業に

緑地と隣地境界にあたる樹木の刈り払い(剪定)などにコストが多くなります。良好な自然環境を保全するために維持管理費用のご支援をお願いします。



久田緑地について

緑地東部を流れる境川のゆるやかな河岸段丘に沿って約1キロに及ぶ樹林地で、多種多様な動植物が生息し、樹林地と周辺の畑や屋敷林が織りなす農村景観が維持されています。

特典／一口5千円以上(総計五口以上で大札)、法人は一口1万円以上になります。寄附者名が入った木札をご指定の緑地の「寄附御礼看板」に掲示します。

掲示予定場所(場所を変更する場合があります)／
小網代の森緑地(えのきテラス新設看板)
久田緑地(もえもん坂下看板)
葛葉緑地(くずはの家付近看板)

木札／久田緑地産材を使用し手書き印字によって
名前を記載。

掲載期間／令和8年6月～令和8年12月頃

所得税・住民税の優遇措置について

(公財)かながわトラストみどり財団への会費や寄附は確定申告をすることによって、所得税、住民税の還付を受けることができます。ただし、県民税や市町村民税の控除は各自治体によって異なります。なお、控除額の計算は①②いずれかを選択することができます。

①税額控除(所得税)

① 所得税の減少分

(年間の公益法人等への寄附金総額 - 2,000円) × 40%

② 住民税の減少分

県民税 (年間の公益法人等への寄附金総額 - 2,000円) × 2%

(②の例)：横浜市税

(年間の公益法人等への寄附金総額 - 2,000円) × 8%

②所得控除

(年間の公益法人等への寄附金総額 - 2,000円)の金額を、その年分の所得から控除するもの。

相続税の非課税

相続された方が相続財産を、相続税の申告期限(亡くなってから10か月)までに寄附された場合は、その寄附額は相続税が非課税となります。

付属の振込用紙からゆうちょ銀行・郵便局の窓口やATMで手続きできます。

同封の振込用紙の取扱いについて

【注意】現金でのお振込みの場合は手数料がかかります。

- ①本用紙は「キャンペーン用振込用紙」です。会員会費や緑のグッズ募金の振込には使用しないでください。
- ②振込の内訳に記載がない場合は、財団事業への寄附とさせていただきます。
- ③領収書等礼状の不要、ミドリ等の掲載不要(匿名希望)の方は通信欄に☑をお願いします。

●(公財)かながわトラストみどり財団への寄附金は、所得税・法人税の控除が受けられます

私たち上野グループは、1869年の創業以来150年以上にわたり、産業や市民生活に欠くことのできない石油製品、ケミカル製品の輸送・貯蔵・販売、ソーラー事業、海洋環境事業に取り組んでまいりました。

私たちが目指す最高の品質は「安全」であり、それを達成することが「社会的使命」であることを社員一人ひとりが心がけ、日々活動しております。

これからもエネルギー関連事業をベースに、様々な事業分野において社会の発展に広く貢献し続ける企業グループを目指してまいります。

みなさまへの感謝の気持ちを第一に、200年に向けて走り出しています。

UYENO

私たちは、200年に向けて
走り出しています。

UYENO

上野トランステック株式会社

〒231-0023 横浜市中区山下町70-3

Tel.045-671-7535 (代表) Fax.045-671-1137

<http://www.uyeno-group.co.jp>



公益財団法人
かながわトランスミドリ財団

〒220-0073 神奈川県横浜市西区岡野2-12-20
TEL:045-412-2525

編集・発行：(公財)かながわトランスミドリ財団
〒220-0073 神奈川県横浜市西区岡野2-12-20
TEL:045-412-2525

✉ midori@ktm.or.jp

印刷：株式会社さんこうどう
ISBN 978-4-9914316-1-6